

クビアカツヤカミキリ

回
覧

の情報提供に御協力ください

栃木県南西部を中心に、県内全域で**特定外来生物クビアカツヤカミキリ**の被害が急拡大しています。幼虫が**モモ、スモモ、ウメ、サクラ**に寄生し、内部を食い荒らすことで、樹木は最終的に**枯れてしまいます**。

さらなる被害の拡大を防ぐために、皆さんからの情報提供が必要です。

写真を参考に成虫やフラス（幼虫のフンと木くず）を見つけた場合には、下記のお問合せ先まで御連絡下さい。

成虫の特徴

- ・ 全体に**光沢のある黒色で、胸部(クビの部分)が赤い**
- ・ 成虫は6月から8月に現れる
- ・ 捕まえると刺激臭を発することがある
- ・ 体長は2～4cm



クビアカツヤカミキリ（ほぼ実物大）



幼虫が寄生している樹木からは、**フラス（幼虫のフンと木くずが混ざったもの）**が排出されます。

フラスは、細長く連なって出てきます。

防除に関する詳細は

「クビアカツヤカミキリ防除対策マニュアル」をご覧ください。

栃木県 クビアカ 防除対策マニュアル



<お問合せ先>

お住まいの市役所・町役場

益子町産業建設部農政課

電話:0285-72-8853

栃木県環境森林部自然環境課

電話：028-623-3207

栃木県農業環境指導センター防除課

電話：028-626-3086

栃木県農政部経営技術課

電話：028-623-2286

このチラシは、マロニエ緑化基金（栃木銀行寄贈）により作成しました。

被害の例



赤茶色のフラスが株元に積もったサクラ(左)とモモ(右)



被害で枯死した公園のサクラ(上)と果樹園のモモ(下)

サクラの根元に落下したフラス

サクラの幹から排出されるフラス

クビアカツヤカミキリのフラスの特徴



木くずと幼虫の糞が固まって
かりんとう状となる



フラスの内容物にはノミで削ったような
薄い木くず片が含まれている



内容物(拡大)

★クビアカツヤカミキリを見つけたら

- ・裏面のお問い合わせ先に御連絡いただき、発見場所、発見日等をお伝えください。
- ・成虫は見つけたら踏みつぶす等して捕殺してください。

★可能であれば御協力いただきたいこと

- ・写真を撮影してください。(フラスの拡大写真や株元の様子が見える写真)
- ・木の幹で見つけた場合には、樹種をお知らせください。

—御注意—

イチジク、ツツジ類(ドウダンツツジなど)、カエデ(モミジ)類等については、クビアカツヤカミキリの寄生事例はありません。フラスが出ている場合は、在来カミキリムシによる被害と考えられます。



クビアカツヤカミキリは特定外来生物に指定され、**生きたままの運搬や飼育、販売等が禁止**されており、違反した場合には罰則があります。

県民の皆様へのお願い

- 1 外来種について、**よく知る**。
- 2 既に野外にいる外来種をこれ以上 **増やさない**。
- 3 飼っている外来種を絶対に **野外に捨てない**。



栃木県